佛道御傘

特別
へ5
6041
1

洛陽法傘

序

洛陽法傘の面白きある時奥
ふかきしるしへおもしろきも
ものこころをあらはすたのし
む道をれをおさめまつる世
乃ものこころをとふ乃ものしる
ものをを山海宗猫大
施設を接しつゝ連歌を
もちつゝ洛陽をいふ風
な道とたゝうゝ宗猫ゝん

56-4074

二条院の筑波集宗祇法
師の筑波をあつめる歌
と早下しる歌名を
筑波と連歌ともなら
大蔡大猫大神人のやう
に俳諧をたる連歌とも
義よりあり次第にしめし
俳諧と連歌のちがひ
しる中にわるくなる
詞のことばをつかひ
いひ始云を編とする次第也

句を俳諧とふなり俳諧
とふ文字は唐土よりわ
ぶんわ長歌短歌の雅俗混
雑一体の
名なりわたりたるとふ
もを紀貫之古今の序也
ふへ行ふなりより後の集
よりしるあれども
たゝわりなる代よい深く
うく行くまぎ法なりと
聖代を行ふくるあと
ひろとるけ東国舎人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乃歌の始りなるべしとぞ思ふ古乃
字の間に三句を置しなるべし
乃字にて云ふ通へし同云古と
集乃古の字とをいひ〳〵へと
かなり也古歌の古れ字をとし
始りきぬ乃字に成こと法く字八行
乃字にもめでたく若云古今
の二字は後成て八代集和歌
に時基後乃字へ今れこ
との葉をとよりこと法く字
古歌いひ〳〵今んもあまて
ひ者ことと云後法なる
し惟今家よりきあらりを
ふ古量乃古乃字付こ
ふ事あり人〳〵れて皆此格
をとりく者乃あるへし

むしふ水鳥を鳥あれ
し鵜よ水面を鳥あり
唐 いかきいかりき鳥いひ
久をとをいかりくくこと二ひを
二もありいかりくくこと二ひを
ふ人〳〵寸鵜よ水鳥をうへて
唐崎唐崎唐崎なり
いひく今きあるるり
礒 二つ今一名磯よあるを
池 毎一名荷ふ一鉢まる
池二名池よ一ひと三るり
池あるく数のうしむ句
も三句乃間し無池功徳
池なも三句乃間し名池
乃池一乃間し池乃尼浦池乃

借ぬるとく命名字ふかき
いなかにもるすれば水色よ
も不遍あるこ人倫と池三句
乃かし

命

雲乃命名いかにく
一説に美の命名歌作
命終るとくこと忘ふかてこと
人名命の二字閑と命に也
乃詠杯を雲乃命よ
いむ乃を二句もこと人意の命
るくい意乃ふの也の詠るへう
と命い速懐るるなわ
し神と云ふく

稲葉

久るへし跳るも
比ふよりの一るへし稲葉ハ
いるよ杯を稲と云へくも稲

三乃ふいるのひるをい杯よ
るるす電乃字ふるよる命
ふい杯に二句もこ稲葉う
いるる光杯を稲と美濃乃
いるる山稲田姫稲葉るの
姫よるる乃稲乃字杯を
書くへ久一るへしあるるの
句も猪鹿乃稲よのひるる葉
毎るる稲三乃内ふかし
稲葉も同稲よあ中付句
稲乃稲乃といふんしいる員
るハ姫るるるしう人猪ふ稲
三乃内こひるれ名也字ふる稲
乃字ふよ姫とこしいへ花名姫と
く去遍ふるこ

伊勢乃神

神といひくいなる名所なるもあり照
名所名所より出もとゝ八ゝ顔
なりと奏之物語おもしろ
あまこあやまりわこ名所あり
をたよ奏しゝ伊勢の神と
をあまてらす神と又一社をの
ゐくゝなる人ゝ桃源もも天
照神とあらゝをもや天照
大神といまる人ゝ寸来ちと
いなる人ゝ伊勢ゝゝ國乃名
あわゝもわをくゝいを相殺
又人名名の伊勢ゐいもの流
いを海老いせめゝ豈いを天自
乃殺乃間おりゝよ今をゝ

ゐ一いをの字は一産ゝ二句一
乃かまる人ゝ寸

いせのゝ

をゝくゝ賀茂乃斎院ゝを
まる人ゝ伊勢ゝ寸物
をとまる人ゝ寸賀茂のゝ
ゝこのゝをゝこあゝいもや斎院
原ゝ賀茂ゝも斎院をもを
もかいゝさのゝをゝ續ゐり
いせゝ賀茂と海ゝされぬゝ
かをゝ人ゝいをの伊乃をゝ一
賀茂のゝさのをゝびか
ゝ物をゝ斎院をゝ斎院
と物ゝ續ゝおゝかかゝ一
をゝ伊ゝ賀茂

乃事に御ゑ[illegible]
[illegible]
乃文とい法[illegible]
[illegible]
[illegible]

石巻乃数ハ岩三乃門ち
ゑの名ハ岩ゑ〜岩ゑけ
い岩石三乃ゑ〜のゑされも岩ゑ
いゑ面ちゑへ石ゑハ七句ゑ後ゑ
ゑ二句ゑゑ岩ゑ岩ゑ
ゑてゑこゑゑハ海ゑゑの岩
ゑなゑゑ人ゑ岩の岩ゑ代
ゑいゑゑの岩ゑ岩ゑ所舟
も図ゑ石廉も石二乃門ゑ
石行石二乃ゑゑされも石
ゑハ面ゑゑへ岩ゑハ七句ゑへ
ゑ物ゑハ二句ゑ石菊も同
ゑ菜乃名ゑ稜石宮水石
苔生石ゑ石二乃門ち石
石ゑへ石二乃ゑ門ち所
ゑゑハ物ゑゑへ岩ゑハ面ゑ

ゑゑへゑゑ岩ゑ面ゑハ三句ゑ
ゑゑゑハ二句ゑ岩ゑ所ゑ
岩三乃ゑゑ組岩ゑハ物ゑ
ゑゑゑハ石ゑハ面ゑゑ所ゑ
岩ゑハ二句ゑ所乃字ゑゑ
三句ゑ生後句後ハ岩石ゑ
ゑ七句ゑゑハ岩ゑ
ゑあゑ組句後ゑへ
岩ゑハ人ゑハゑゑへく
ゑゑ後ゑ物ゑ組ゑ岩ゑハ二句
ゑ石清水岩乃ゑ海ゑゑ
ゑち清ゑゑ石乃字ゑゑ
ていいゑゑ懐ゑ所ゑ石ゑ
物ゑゑゑゑゑ所面ゑち
後ゑ石清ゑハ先ハ八幡乃江
事ゑ名ゑゑゑ逗坂の関ち

もとの所にあるもたるあく
を一座とし一句とし清あると計ハ
杉をとへく今一句をとし清水
ハ清水とし何も敬よ
あらす岩橋も是一も云ハ
石の字ハ紙をくもいと橋と
清くし連歌ハ瀧よりハ橋と
ふ句のあまりて岩橋乃時を
石乃字をとくぬ物とし紙
執筆乃古字をいと橋一あら
くいと橋をとへ次岩橋を
山数をあらすあるとろ
らさの岩とし山数と水辺
とあるとし次岩ハ
も岩三乃関と祇園祇園
辺無乃字をあハ句をとり

あ月の岩とし次身をとりかも
杉の事とし

敬生　祇園八月十五夜乃
八幡乃祭と杉と敬生
川あくをとり水をとり生成
生数と二句地と生成
清とふ句敬生舎乃ふくを
らく杉をとへくも敬生舎
も敬生川とも敬生舎
とし敬生舎とふ句あら
く杉をとへくあく生あら
地をとるとふ句をあ
乃一連の一句乃物をハ瀧よ
二句をとし地とくとんあく
不学乃瀧乃学とうあく
乃む事とあ二句をとり

さんハ淺まし〜き事ゝ紀淮之
殿堂門とゝろわハ脂燭非歟
ゝゝ〜ゝ〜ゝ〜

入れ　の乃字あるふの字二句
を晩蓮と云人や
夕顔ふくべ四句に
蓮乃字ふくべ乃字
蓮乃字ふくべ

いなく　二句
こいなくこいなくひとへく
一句くるしく也とこれい七句
をくし跳ふいなくこいなくいの
連の間今一そへ二句ふくべ
乃句とふいなくいなくこいなくい
いるふるそ跳といふいる
いんんそ跳ひとへくい
皆二句をくしひとへてて
句とふるそのあい
字をくしみいるくくといるんそ
とるんそふの三文字なくく

ここなくいなくいなくい

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]句も二句共[illegible]

いろ[illegible]

[illegible]句も二句共[illegible]

[illegible]

[illegible]句も二句も

[illegible]

稲書

[illegible]

[illegible]

[illegible]

粽物とハあるすを巻山ゟ乃
ゟ衣も生数よりあらすやう
ゟく武用をちゝへさものゝ
ゟ衣をゝれし給あゝく
第末乃下に巻ゟ紙ゟ乃布
ゟ粽物ハ二句塩しゝ流いゝ
ま次ゟ人粽ゟあゝすと巻
ゟゟてゝ衣宮衣乃第末
乃下ゟ巻をゟ乃布ゟ
二句塩ゟ乃ゟゝゝゝ
貫尾和遠をゟ重一真山の
和ゟゟゟ次紙也昌也
乃巻ゟ人成乃ゟゝゝゝ
左代ゟ家通家巻句ゟ
ゟゟゟゟゟゟ家を重く
成ゟ次文乃衣をゟゟ

ゟすゟく付ゟゟ
新武をゟゟく用ゟ
左代二句塩ゟゟ流い湿
粽ゟ和乃ゟ巻ゟ粽
粽ゟゟ次ゟゟ
乃ゟゟ巻ゟ衣も粽物ゟ
あゟゟゟ人ゟゟゟ成の瓶
ハ粽物ゟ粽をゟ
あゟゟゟ衣ゟゟ催馬楽ゟ
あゟゟゟのゟゟ乃あ面ゟ衣
あゟゟゟ紙ゟゟゟゟ
をゟゟゟゟゟ句ハ巻楽ゟ
もゟゟ次ふゟ粽ゟゟ粽
まゟゟきゟゟふ人ゟゟ
ゟゟゟあゟゟゟゟゟ
ゟゟあゟゟゟふゟ

[illegible]

稲葉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

面を漁夫と為て
いさりびとをとる
漁夫をとる
海人
あまくさ
海人
あまくさ
海人
あまくさ

[illegible]

生田　[illegible]

泉　泉しみず　泉國は非ニ[illegible]

色　[illegible]

板間　[illegible]

市　市一名[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとをもて　人倫し為し難し
味せるもく為れ難
味乃山をの山或いとをもて山なる
ともわれをとへく今一を
乃ともなれも為乃句をもこん
をとへともすいもをもとも味めを
とをもくいふ句いれをを人へ
みをもせよいをもとりをもこのも
乃をなを為乃をもとり面を為
いろ難しいれををとへし

いもの乃をなて難しより句難をう
乃をくこの乃をいへをもを
いをにいをもくこの面を為へ
し

いもをを為　恋慕をもを

今よ　ふ付句もを句もを
をもこん日を数のよ
よ為を今の句をに二句を人へ
し日句をの吟をいへをう
ををよ為を為をも二句
ををて難乃をを去日は
を為をを大よをもをわめをし
難くを為を別
いふよ　をを為ををふをと
乃て句を二句を

儀業　はじむ　はじむ　はじむる　はじむる　はじむる　はじむる

稲荷の祭　二月上申日

氣象　なし　なし　なし　なし

治

樹　居所　居所　居所　居所　居所

今一ハ　今一ハ　今一ハ　今一ハ　今一ハ

藝　因乃藝　因乃藝　因乃藝　因乃藝　因乃藝

百官ハ　百官ハ　百官ハ　百官ハ　百官ハ

因ハ　因ハ　因ハ　因ハ　因ハ

藝居　藝居　藝居　藝居　藝居

一ハ藝　一ハ藝　一ハ藝　一ハ藝　一ハ藝

人ハ　人ハ　人ハ　人ハ　人ハ

て藝　て藝　て藝　て藝　て藝

因ハ　因ハ　因ハ　因ハ　因ハ

を藝　を藝　を藝　を藝　を藝

ハ七日　ハ七日　ハ七日　ハ七日　ハ七日

藝乃　藝乃　藝乃　藝乃　藝乃

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

こと　こと　こと　こと　こと

藝居　藝居　藝居　藝居　藝居

ハ付　ハ付　ハ付　ハ付　ハ付

葉

梅 枯し連歌のみは一座一句なる
まつし俳諧のみは二句もよへ
上句下句とも無き成りへ歌
も不苦但し蕪風色葉
紅葉などの文字の句に
あらざれば乃句のみは特に
分事なられ

表雪 雪くれ乃雪今一
連歌もまた俳諧に変遷

表霞 霞さめて百韵
一巻俳諧のみは表霞村
霞ことさめおりふしを
さめと二あるわくあるへし

表雪 雪くもりと詞をう
俳諧のみは雪くもりも一句
よりく今一句を表雪と殺
表乃さゆりも此二乃内も
連歌のみは表風くと

表風 二人表乃風との字
を入るくも二句乃中にわ
組乃字を不入くに二句
まきの字を入るに二句は
表へうさ所由し俳諧よ
い表風二表乃風形をうへ
て一句と三句もへしと
三句ん始うと殺よりもむ
三句表うちうへし

いと

上句下句各一つ脚
詩のよの上句下句
いづれもいとめくもも今一くさくく
ゆゑ三句をへ〳〵ら海の
事し

三月　毎一月朋一三日月
一新式よくはあるく
立花三句乃ものめし
脚の勝月三月なく殺よ
清〳〵今一〳〵へ一座四句
なりわ夜多く同お秋月を
八おくくるく
くしく〳〵〳〵只今寒に
四法とかい三夜多く九月
乃事し新式をくくけ
ぬ人多四事み法よ三日月

三日月一三朋二と宮〳〵三
三日月一三朋今二あるし
脚の脚三日月乃三日月を
るく九の事の三ケ月今一
あるし朋三朋三るく出場よ
九乃事れ朋二おくく
れも脚乃三朋今二あるし
〳〵わ九乃事乃事朋二ハ
あるすあく一句脚句

三と春　句三句同云脚
詩ハ和漢乃ものく
出場と云しよ脚三同事
乃七句ハ脚詩ものく宮云
も不私云自法下絵色法
詩三の脚詩よ事よを

匂ふ花ふさ[illegible]を[illegible]ひ
[illegible]乃[illegible]の[illegible]を[illegible]
[illegible]匂[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

花 一座四句の物[illegible]
[illegible]
[illegible]

あり花を雪と雲とまがふるもた
雲を花とまがふるもたゆ
むの雪とうたふよりは梅花
をいさ梅面影小梅がもと
なれと梅はもと彩式のごと
くなり

花乃滝　四花しと彩式のく
く梅花はよこ白山
数多出るもこの白梅ハ面影小梅と
なわ新式より面影小梅と
なるを云物より花乃ちる
梅をいへとも梅花のく
ちわるもあり流れもあり
流るのしとちりもあり
なり白義なわさやうにはさい
花乃雪なる花乃滝

あるを云義なるし花乃
波も波より紙なるを
ちわるるに梅をいは
面にさう梅とのくるん
そこの花乃滝ちるを
水辺より梅まりきと常より
小花愚なる流れ彩式より
混合をへき物をいは面方より
梅なく不混合もものをいは面
方より不混合なとうきるハ月
雪月乃雪より面方乃詞へく
ハ滝梅をへるすとおせるわ
ちゆくなるあるをへし梅乃
しを乃波花乃滝小ハ六ケ
安梅なれと彩式ともて
なり別一梅と一ケ条ちく書

花乃波 四句し水辺より
三句し但て後句
神波乃なは非四花白浪の
なるよ波なるなをつかもち
神稲ふあるす

花乃雪 四花し神稲よこ
句ふる物よ此と
雪乃花神稲よあるすふる
神し

鳴ふく 神し鳴乃宮ふる
打をを鳴生歌よ
二句鳴くの宮よ三句風神
り二句ふし鳴ふくとふ
り知ふくふく

嵐風 共一嵐乃風一組不及
此句に
云ふ乃をふくとふ

二八年三月十五日ん海ゝと数ゝよ
ゝくいとゝあるゝ

春乃日 とゝふ句はゝゝゝ

ちるハ二句ともに

花乃ちるを見ぬれば　義乃れ

月をもの打つるハ結くもく

ふ〳〵ゝ千

花乃ちるりけハ新しと

流れ〳〵花のりけも義乃

もこれ張乃字し漢ちハ

花新〳〵いとら

花のあるなる　きく糟物し風

あ〳〵す　糟しふら糟よ

花乃郷　正花し糟糟ちら

連ちうハ表乃

愛よ月ゆ表句糟〳〵

ちうく雑〳〵ゝ花海

中花ちゝ殺よちくハ泳

雑しを附を正花ちうら

糟糟よ二句ちうら同一あを

ちゝ花の郷ちへし糟

糟〳〵二句ちうら正花〳〵

ちる程乃糟をハ結表よ句

へき義ちれを連歌俳

諧をを所よ花乃所〳〵

雑乃句り歌附ある歌よ

乃理をまけく雑をし

雑よを海し結〳〵ちあを

乃〳〵

花やう　表物よ花よちる

やう

とうふ流れ〳〵ちうう二句糟

ちゝ物を掛ふ

[illegible]

正花の句の花やうとつる句の
りとつり花やうとつる句の
さうのやうに形式よりよりけり
も言うとうこの説のこ
とくるれし正花ち歌花
しく表よりわ極相よ二句
編へさしもうとつる句
へるものとも付くつへし
正花ちの成ちきと有事
と花こしとつる句とひとり
ゐるれし正花ちとつへ
ゐも一義ばら花芸栄花
字あれし花乃字ちの二句
ちこ形こしの一字ちの付きへ
花乃字ちりこ句去有

[illegible]
は形式のゐ花花よ准し
て去よりて月数去ちとも
俳句体正花ちも成有

ちの形くし　あまこの花乃字
菓乃花乃数ちの二句去へ
極相りの二句去へ正花よ
も成有

花のもとる　花乃数花乃
乃むの乃ちにゆうとる極相
し正花し表しこ有ちの花よ
有ちへくへ人ゆうへよりも
正花し表し極相りの二句去
有ちへ表ちもちる有

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]人を花の神恵
乃なるべくいつるものを雪にハ
新なれはへよ後のこの花よ
もあらじ次世乃花よ毎へ
あるものし絶生花乃る時
乃あとこそふくふん花ふまりる
神とらふふもあれとん神よ
まりくの義おも面てく宮
こ家にしわ連方ふくむ
乃神花の神花衣むの交
なこの新こそ面花うも去
こも見へさしは間花の交い
人倫し花ち交ともれし
人倫よあらすみ文衣れ方
をこ所よ花衣を去のも
乃よまりられし花の神

[illegible]
花乃あるもの[illegible]なれ
人倫花をあるる花を
ぬる人倫よある次 二
花乃富 乃花不し花を富
不也乃濃ともに所へ非二花
花不よあるる次
花富 面花し種物し去
もれし種くの理常伝
去花ほかぬくる面の絶し
花乃ねるる花やう形る
をうこの面のねるり
をうこの人もも花ねるく

[illegible]
[illegible]
[illegible]

い菊花しうこ菊花豊流のこと
雖し種花よりもあるべき義相
いうこ可い西京よりの所へうるべ
非ニ若而一他人編海

菊車 西京こもまこし意見車
乃ゐもし

菊軍 西京こしまこし色い玄
宗と楊貴妃と色
菊めくれ可あひあそ
ゐうもとうこ

菊山 花流こ京もこの名
あわ白紙ふうく
黒き玄宗白菊
こ白色を西京うの白ひこ
い玄宗こうもへこ柳ら海と
いひくも猫流とうひくよ

種紙よりも玄よりもうこ
うあうこ連ゐのよいうふわや
まうこ京と漁流うこい西京よ
玄場へこ花い唯宗周玄菊
乃紙い玄流乃ゐ名ゐうひうち
ゐうもうく西なよ月のこ菊山
いこ山を屋こうこ白く
いのよ玄乃河いうこ称し西京
よううこ流うこうあいうん
若云菊流こ名前よあこ
菊山い名流ゐうこ名ゐしうく
ゐゐもこへこ菊山流も名
流こ流乃流前京玄家乃
流名よりもあま山数うこも
ゐうこ可西菊ゐもうこ流
名流うもうこうこ名称

非公仏勢し

花の香　神乃香人がおとよ
連　ゆるよい形を畑へ
雁行りゝ面ちを畑へし

花の旬ふとゝろふよ神乃香う
雁行りゝ七句を人
花ぶゝ　傳京乃廣のゆく
まるゝ
通乃時ちゝさ陽ゝとゝふ文
正月京餅よ美乃花ひゝと
てゆゝあまゝゝ
ゆゝし正花ゝも助し傳れゝ
次い正花ゝよいるれ生ゝ
ゝ
ゝ

花小右時ゝ
ゝ時ゝよ花い不若ゝ
ゝ野　紅葉よ彩田月
ゝ級同お同ゝ不乃箱
ゝ分ゝ同ゝ
鯉ゝ分ゝ海ゝ餅ゝ
付ゝゝゝゝ
結不審しひゝ事い形式よ
ものゝ次いゝ
ゝ
ゝ

よ嫉妬もふちうを法を
ぬとんの時へしひかい付
合よあもくるるから寸苦
ちわいさるきるのうう
白山とつふのい雪紙付へう
を雪うう白山をも付へう
雪を田雪乃名流のう
富士い雪よ付くも雪紙
付くもくしう寸を
ふあく自余れすを多別
うへし

花るれ粗玄　花し雑し
人倫

花田　正花よあう寸雪茅
乃うるあくうあう
を花田文とうしられと

花田乃茅ふとにとう
粗るれて秋ういるう
雑し穂粗ももも衣類うも
あうし次

餅菖　正菖しみし粗よ
ううる　二句し

花まあ花智　正花と粗し
人倫し穂粗よ姫と表姫と

花のうき　正花を粗し表
ういあう次穂

粗うあう次
ま粗う　花い花乃字み
あう次穂粗よも
きうう次粗花乃字う
ふう白粗うるあ

正花ともいへり 種花とも
も二句ともいへり

もとゝ花 花乃宮より此を
るれ鼻より南方
はし

花の名 正花を指し
花乃名 乃其の名花
花の目るれと言う
も種花ともいへり

花の蕊 花乃後あるに
かをりあるとも
て種花ともいへり 蕊より進し
をいとりし正花ともいへ
正花ともいへり 種花とも二句
蕊へさ欲絵形式乃名を

花うりか 雑し正花ともも
ふあるす

花下る 非正花 蕊よりあり
す花とも言あれ
ども種花よりもこゝろ深

葉のもの形書 葉とも花と
もいとすもの葉のりさの花
やうなる紙やゆへよ正花を
も指しさ種と雑し種花よ
きこゝろす

花茎 花乃茎のうゝ
種花し正花と言し

さとうひのもと　正花を拾ひ
雲にあらん
雑花よりあらん歌
花火　正花を拾ひ雲
抱き火の中に新らし
雑花よりきらんとす
花ゆうを　正むを拾ひ雲よ
あらすうへものしよ海へらす
抱つと花　正花し離し雑花
小二句雲へ
絵ふあるる花　正むを拾ひ
雑花のうし
あらすまも
花りつら　まも雑花し正花
なり

花ゆうり　緑乃事し離し
正花ゆうを拾ひ
雑花よりあらす
花うと　小敷よりあり正花よ
いるれとも事へりと
す雑花よりあらん歌
花を海へ　正むし雑花
絵の中
種乃もをふ
るけまと
まんあるまん
あとくれを
正むよりす
す雑花り二句
ひあ乃たく
もも離ぬを

なりまさに梅し梅梅みも梅し
ゑよのはるの乃梅梅華みるの
やまたちをかめるく花とふる
次しるふも同おし梅乃もを
ふる次い春よりの次ゑもよ
もるるすう人梅しもわるす
梅梅乃ゑと同し

花乃宴（えん）　ゑもし春し梅梅
ゑむのえんとく
ゑ乃梅のるもしゑもし梅
梅しるす離しりんめしたま
帰のるし

葉宴（はのえん）　はの葉竹の葉ふ
武りし一座四句のはの梅乃ゆ
おせりるいるいと

散のよもし句も海しのまく
一座よゑ句あるしこの葉と
おとゑ本の葉乃ちもしゑ葉ふ
ま葉一ゑふるるく葉葉
葉るみち葉ふ乃ま
ま句を新武をうくゑ
るわし連句郭はゑ葉を
知ちゑ人ゑ郭乃葉梅乃葉
ゑるとゑ乃葉乃葉いゑるとゑ
て一葉葉ふゑるに面を
とゑいおせわるゑれを代不
雷しく新を梅ゑ結るふ
流を用本まるられしゑ
ゑ乃ゑる本の葉とゑゑ
毎しゑに新るゆへゑる葉
梅るもひ四乃葉いゑとる

ぬ本の葉とあるべきよ
ひら葉松乃葉ふをおりて
とゝわ編ふるとゝ編しわを
ぬふ角さきまとゝるもの
ちやひと者乃間よ混り
あわ為葉とゝゝをさゝぬ
葉乃間のゝゝゝゝ結を松乃
葉とひとゝ間よ混ゝゝおゝ
もゝくゝゝ新式の文成
ゝゝ結さるゝんを敬まゝ作ゝ
新式よ葉乃字よ字とゝ
いゝゝを作しゝゝもゝ決し
ても樹本の葉のるゝゝ
さゝよゝゝわゝゝゝ葉れ葉作
の葉ふいゝ文句ゝとおゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ

ひ本の葉ふよ作の葉ゝよの
葉字ゝ乃葉の葉（ゝの場とゝふ時ハ
ゝ乃葉門ゝふハ雛ゝよ
三句ゝし親ハ付ゝゝもゝ作
しゝゝ次ゝ云乃葉ハ葉ふし
ゝ乃ゝゝゝゝゝゝふをはんし
ゝゝゝゝ句ゝへゝ葉ゝ
ゝのおゝへふ葉ゝれゝゝ
やゝゝゝゝゝゝゝゝ葉の字
ふゝゝゝゝ付ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ搭ゝゝゝゝの
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
三句ゝゝゝゝ葉ゝの作も一
雛文句乃間ゝ雛ゝ一葉ゝ
ハ雛ゝ本乃葉ゝゝゝ葉
ハゝゝゝ文乃字とゝ

[illegible]

葉ハ[illegible]し松竹の[illegible]ち葉ハ
離しそれも文乃字のあれと
[illegible]し葉乃字の紅葉と句去
[illegible]

[illegible]乃宮 去宮城乃事し
[illegible]

[illegible]と[illegible]と[illegible]
去乃字とつの句ハ離し
[illegible]

[illegible] 共一名流一物一浮物一妻
[illegible]

次[illegible]乃浮物と[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

連[illegible]
[illegible]
[illegible]

四なり

渓底　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初霜　[illegible]

初嵐　松しを[illegible]　八月十五夜より風波を[illegible]

原　松原藤原[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蓮

小漬くも同じ大淀の芙蓉なり

同じ蓮の実も同じ様なれ

[illegible]人あり

[illegible]の菓の菓の蓮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の蓮[illegible]に[illegible]乃
和府蓮同之蓮[illegible]玉藻の
[illegible]同[illegible]と一[illegible]
[illegible]の葉[illegible]
[illegible]
[illegible]一
[illegible]
[illegible]
[illegible]乃
[illegible]

端山よ　山乃端物を[illegible]
[illegible]山端
[illegible]端
[illegible]物
[illegible]

[illegible]端物を[illegible]
[illegible]端
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

連句二句ずつ[illegible]

[illegible]

[illegible]

八七句を入れ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

数肴の字こゝにハ鯛ハ
ふく風流よ二句吹乃字ゝ
二句きこゑの鯛吹ふく鯛
きゝなみ鯛の鯛の字
三句ゝ鯛ハ鯛ハ鯛ハ鯛ハ
生数ゝ鯛ハ鯛ハ鯛ハ
きゝ鯛の字多ゝ
ゝさ鯛ハ鯛ハ鯛ハ
鯛赤贅 元日ふゝ
肥後国宇土郡
長濱ゝ鯛を
鯛赤ゝ鯛の作時
ゝ京の作時
ゝ聖武ゝ
初鯛 元日の鯛乃ふい
鯛の作をふ元日

鯛鯛ゝ
鯛ふゝ鯛ゝ寅乃
鯛鯛鯛ゝ寅乃鯛ゝ
鯛ゝ鯛ふい鯛の鯛
ゝ

ゝ 鯛

花ゝ鯛 鯛

花ゝ鯛葉ゝ鯛ふい鯛ゝ鯛葉
鯛ゝ

ゝ鯛ゝ鯛ゝ鯛
鯛ゝ鯛ゝ鯛
鯛ゝ鯛ゝ鯛乃

蘇の戸蘇 [illegible]

[illegible]

深草 [illegible]

[illegible]

柞 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

又ハ[illegible]と三ツ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
と新[illegible]よ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]今一[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鶏を代月雪乃羽といきろ
えれあさ風しまの流なら
古きのよりい續くくらい
くまの名のし崇代ん風信
むしよりもゆへよいわし
き羽をとれ羽とおひさ
羽をいわしくさくへら
古きのよあ風羽ぎんゆく
さくらもあとさの通不和鶏の
人表名笠いよよ月へくん
又鶏吉音流乃名し鶏比鶏
山天ぎし鶏比鶏実
きびぶさのるもしを赤鶏の
宮くくけよ面を梅ひく
いけくもるもふとくわく
るくあよくわあを作を考

ふくの表名よ二句きし
又鶏合い和ふう　あくすま
月きるよるあよ去り脇
くらふ鶏ありあ脇苦舎
ふあくす辛面梅鶏もま
月ふくてせるあり礼紀
ももひるやありく京くくへ
いけもを所るよ結を
雛あくく雪へさ鶏くわ
も乃雑くわも乃馬よ鶏
ひ鶏のもくてを所事
ふれをあと名る和名くこ
ふくを赤よ行を梅へし歌
ふくも生歌くよ
ふら甲ひ歌欲去たのぐく
三句のあと

贄　生類より二句をし贄と
ゝ　ハ肉重又祢祝のゝへ
生ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
のゝ　ゝ　腹赤の贄と
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

ゆを猫乃花　ある面より空に
橘畑し　ゆ
紫桃　ゆ七句をへらし
猫乃歌　ハ　杉を畑ゆ
ゆへ　ゆ　も面をうへく
とい　ゆ　卯　むの雪乃雪ゆ
うゆ　ゆ　ゆ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一百ばかりなる物の名なれ
ども人の書端にかくの如
よみなんといふ物あり色も
花のもとにかさを開きて
弦よりも花より雅しく物
はかりも書紙にも
色紙短冊各々のこれ
らをあのかれて書
雑あり〻と云へり
色赤一産二白乃内
郭公 連歌 郭公一種附
あり 俳諧 ひ系一或は
くりつ 杜鵑 紀或し
きての名紙さうるへこく

きりぎりすの名なれ
ども〻〻吟上三句なへ
いはまも物をう物をうるう
郭公死より結くも同
より結くも宮
蛍 和名抄に水色よりあり
俳諧 一句は二句とへ但
久をしてかるとも色
もしかしくと二句
坐二句乃物と云へ一
蛍 物をしかへ火の
乃字ヲ二句ちし但付句
りて蛍ハ乃字ハ
ちくも文
やをいるる 物し俳諧のみ
山ようり七月廿日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

へ文字　[illegible]
[illegible]
[illegible]

てもこの句の関し居而と殺生
しむ時し所こそ世ゆゑ法いひ
ゆへさやうあるれし事なれ
乃ち句こと又者上に出る所
下吟所下なしあるか居而
う二句し毛もも事なうし
あ次活こ句乃関と又殺生
のゆゆの間所要所乃花
所の無相所性所えんる
とい人者寝而うあうされ
事なうあうこ所角も
活こ句の関し我乃所を出
し居不事なうあ次組句神
ふし所角所所こ乃関し
細我乃所を出し事なるう
居而よ二句角こ生歌う二

句し所こ乃関し殺ゆへ乃
所居而し事なうにあう寸所
こ乃関し要乃所居不し
事なうにあう寸あ事こ
見ものをくこれ所
要の面生活面あう
ども要の所ども
所この関こ見ここ
をめうこにうう
こ乃関こここよこ
こ所乃角よあう寸
乃角をけし各別乃
病ものここ活の滝こ
ともこ所こ乃関し居而よ
二句し事なし所の山所居
関角この居而乃所八所の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以上と理よりハ[illegible]れし祝詞のか
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

い鶏かわるとハあまりとも
見あれも清れあるるにより
各おのゝもしとハいるをり
るとふ句ハ雑略とて
けるとの所のあるけて
もくしくうすくひよるる
ゝるいるるるといふるる乃
字ハ云れ乃るにゝ句ハるれ
も跳清すハ二句ハ三句ハるる
最ハ性生数蕃殖表とうけて
るる乃字ハもも居乃字ハ
二句ハくらくの数とらふも
乃乃字ハ二句ハ三句ハるの字ハ
ハ二句ハし多獣とハ禽獣と
けも二句ハ鱗ゝるゝ
細ハくあまとも三句ハ鱗ゝる

よりゝるハ面を鱗ゝさゝ
云云扱ハあまを虫虫ハ清し名る
乃数ハ〻く蟲ハ〻宿る
ゝ句乃門し和ハ〻ハ〻ハるの
ゝる和ハるるゝも同ハ水る
乃和ハる職ハ和ハらハあるゝ
るのあと云れのるし名ハ
間し乃云ゝ字ハの吳名ハれ
し生数ハゝハ蛇を牛を
ゝ蛇ハ名窠巣孫弥ハとゝも
云れのるゝ字ハ間ゝされも
人云れるれ生数ハさゝ
ゝれるる間もハ同ゝ句
乃間るれも殘乃るれ
生数ハあるハれされ生類
二句ハくさくゝ三句ハるる

詠歌をよみさだめられし作
なのんの如沢山しかし他乃句なら
も難もよへうすしといへわ
ものし

戸宮　とかを宮　実戸　岩戸

なるの名よりわるしと
為て形式めいつ句れ物と寄
逃諸よりハ文ゴ乃字数少
ようしてもよ句の物と知へ
辛さ物云えれ戸い居ものよ
あるの次谷の其事し事とし
誤し居ものよあるさ居を
戸乃内よあるし次といるく
宮の戸も居ものよあるす
それをも宮乃ものよもへな
や而詮天ものも逃るい
又ものに関し云作り様字あれ

もと戸口のかとと連ありるる
きわ居るも居ものよ二句と結
つまも誤しものの字ありと
てとのかよもとなるし紙
形式の戸乃宮乃下ホ樞
実戸岩戸とおせわとか
そとのしに作り山三八間
居るの物なるたに作り計
と句句のかホるす居ものよ
も二句きといへるる人義
誤なに形式居屋乃宮す
むしやい躍の宮あ巻もの
ろくはるとハるとなわくと戸は
ら作りとるる乃物ホ居るハ
形式乃んを和さ居ゆへ次
逃諸るんに作りも又乃戸

乃間居不ともあわ居うよ
煙へさをわ水戸川 戸漁
戸ホを門乃字み海乃字を
も出ゆへ一よのゝれ
戸乃字より二句去乃ゝ云
云物戸より書戸作ると
い法蓮も面紙煙と云これ
大ゝ所誤しもそに新式
を云紙しホ越を煙へ乗
柏乃間字より戸と入あり部
ゝ新式乃字のゝゝ戸
より字かゝせ宿ホ居う
ち紙を煙へ一ゝ作ゝ宿
より法ゝゝ文間ゝるれゝホ越
と煙ゝのゝゝあゝ間ゝく云
居不ゝ句去ゝ所ゝよ

戸ホ紙を煙ゝいんのう
ゝ戸字云居不ゝ句を作ゝ
ゝゝゝ法柏るれゝう紙
ゝわ合の字ゝあるゝ
ゝゝゝ天ゝ戸法戸あゝ戸
ゝと居不ゝ戸あゝゝう戸の
字もゝ物ゝ物ゝ紙戸大ゝ戸
ハ新紙ゝ作語面云戸の字
乃間ゝ字乃ゝゝゝ戸の
字ゝあゝゝ所面不煙ゝ
戸を戸あゝゝ乃ホ乃あゝ
付句煙ゝゝゝ戸ゝを
戸ゝゝ戸ゝ作ゝ戸を八う
ゝ戸ゝゝ作ゝ戸をゝ間ゝ
戸を引戸ゝを上る場ホ
ホあゝ句上ゝ戸中戸下戸

[illegible]て奉の[illegible]の[illegible]たり
[illegible]酒の[illegible]て[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

鳥帽子の小袖乃ゐなかこと
連よりあり鄙も同
雪の枝風 風雅と風雅よ
雅かくい二句こと三句ちし雪乃枝てさ
かくこ枝風雅
雪乃菓 雪のお菓雪表
ちえ作り落きし
雪屋 居所うり三句こと
あさハ二句し雪別
苔も蘚も雪ともとれて
二句し非雪迄ふく雪
とらふよ雪り雪あ
雪屋寄 夜こ雪のとわハ
雑こ一句雪

屋おの雪ハ秋こ初雪同
お

雪の明 雪ふ明の字
よ三句こ
第月雪中度同こ又雪の雪
い時あり又日お紀よ雪の字
とよのありとこめハ句
雪よりハ注雪の雪云雪
もこのありとハこ
りこ雪もこ
大注雪的乃雪云雪月
とこ雪注雪代
乃姫の雪のこよれあわ
大雪年雪こ毎年明
ハ雪雪雪云雪
まつりと雪こ雪年のこ

と始めて大神宮へ参詣する者又熊野へ参詣する者も多く雑踏の乱れ
と成りて天下の地下人迄月より祝儀
も振舞申す様云々
これを不吉に成る事也
大嘗会乃時あるは御禊の
なり

三月

三月三日
桃の花
桃の花
桃の花

[illegible]

年[illegible]く　[illegible]

[illegible]の浜より浜[illegible]

より[illegible]海[illegible]二[illegible]

四[illegible]

[illegible]

[illegible]

なりあるべき海のとをるり
藤乃句小舟をくハる四ツ
あるべき船をもとむることやよ
まを舟をかわるべき乃ゑ
小藤河とあるべき海のく
乃事水をもとめし藤河
乃ゑをくハる海のを舟とをるこ
てかわるべき蛭ハ連よ和
ふよあるべきとをるいかわ
はるかいるかをるべ
蛭もひるまれをる舟
をしもゆへをうるべく給
まをもうやうのをんさくハ
六ケ敷をるれを謝も連べ
ひるべく給り

[illegible]
あるべき蛭を句を舟
あわひるべきを安をあ
宿へをわく給をとを冠
乃字を今一ハをを人をを
ぬをあまを弔乃字なり
唐ゑハ死人を宿ゑハ枝
乃をを弓を分べく門よ郵を
しい法をも問乃字よハ二句
をを

[illegible]
あまを蛭を句を舟
ゑをも不書

[illegible]
[illegible]三月
[illegible]宋[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]花 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]